

第86回講演会ドットコム主催読書会

後援 /スマイル企画、パロル舎、現代書館、マルジュ社、風涛社、社会評論社、批評社、図書新聞、パピルスあい、白順社、凱風社

著者と読む読書会

吉田和明と読む『戦争と伝書鳩 1870 1945』

吉田和明【著】 / 社会評論社 / 2,700円

ゲスト

よしだ かずあき
吉田 和明



三島由紀夫、吉本隆明などの近現代文学を中心に、『フォー・ピギナース・シリーズ』や『あしたのジョー論』『文学の滅び方』『太宰治はミステリアス』など執筆多数。日本ジャーナリスト専門学校講師や各種セミナー講師もつとめる。総合評論誌「テーゼ」の主幹。

テキスト

『戦争と伝書鳩
1870 1945』
吉田和明【著】 / 社会評論社 / 2,700円



著書

- 『戦争と伝書鳩 1870 1945』 平成23年8月 社会評論社
 - 『ノアの箱船と伝書鳩 紀元前2348 47』 平成24年9月 社会評論社
 - 『太宰治はミステリアス』 平成24年5月 社会評論社
 - 『三徳門事件と伝書鳩 1968-69』 平成18年12月 社会評論社
 - 『文学の滅び方』 平成14年7月 現代書館
 - 『太宰治というフィクション』 平成24年6月 パロル舎
 - 『宮沢賢治』（フォー・ピギナース・シリーズ） 平成4年6月 現代書館
 - 『あしたのジョー論』 平成4年1月 風塵社
 - 『続・吉本隆明論』 平成3年2月 パロル舎
 - 『芥川龍之介』（フォー・ピギナース・シリーズ） 平成元年10月 現代書館
 - 『太宰治』（フォー・ピギナース・シリーズ） 昭和62年1月 現代書館
 - 『柳田国男』（フォー・ピギナース・シリーズ） 昭和6年1月 現代書館
- 他 多数

戦場を駆け巡る「小さな伝令使」の物語。第二次大戦中、連合国軍は伝書鳩を使ってフランスのレジスタンスと交信、ナチス・ドイツ軍の動静と軍事施設の情報を得て、戦局を有利に展開させた。

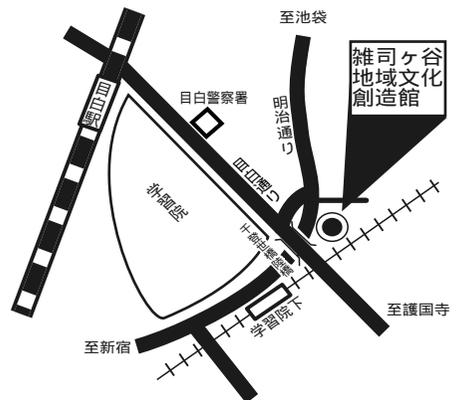
【目次】

- 第1章 原爆投下と伝書鳩
- 第2章 日清・日露戦争と伝書鳩
- 第3章 第一次世界大戦と伝書鳩
- 第4章 満州事変・日中戦争と伝書鳩
- 第5章 普仏戦争と伝書鳩
- 第6章 太平洋戦争と伝書鳩
- 第7章 太平洋戦争と伝書鳩
- 第8章 終戦と伝書鳩

社会評論社HPより抜粋

* テキストは各自でご用意下さい

開催日 201年9月25日(日)
 開場 午後1時30分
 開演 午後2時
 終了 午後4時(予定)
 会場 千登世橋教育文化センター内
 雑司ヶ谷地域文化創造館
 第三会議室
 参加費 1,000円(予約800円)
 ご予約は toiawase@ko-enkai.comへ



<最寄りのアクセス> 東京メトロ副都心線雑司ヶ谷駅 徒歩 1分
JR目白駅・高田馬場駅 徒歩 12分 都電荒川線学習院下駅 徒歩 5分 千登世橋バス停下車 徒歩 5分

* このチラシをお持ちいただいた方も参加費が800円となります

告知

10月23日は、ゲストに盛田隆二先生と、親友の岡本敬三先生をお呼びし、対談形式で、盛田先生の著書『身も心も』の読書会を開催いたします。詳細な情報は講演会ドットコムのHP (<http://www.ko-enkai.com/public/index.php>) または [twitter \(@koenkai\)](https://twitter.com/koenkai)にて随時お知らせ致します。